






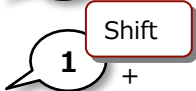

～貼り付け&ラスター編～

目次

ラスターを貼り付けしてみましょう

1. 開く
2. 図枠
3. ウィンドウのレイアウト
4. 断面定義
5. 断面図の投影
6. クリップボードにコピー
7. 貼り付け
8. ラスター呼び出し
9. 名前を付けて保存

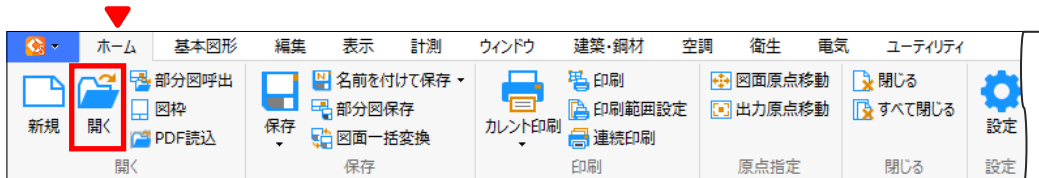
マウスの使い方

-  ...指示位置をクリック (左クリック) します。
-  ...指示位置をマウス右ボタンでクリックします。
-  ...指示位置をダブルクリック (左2回クリック) します。
-  ...マウスを表示位置に近づけます。
-  ... [Ctrl] キーを押しながらクリック (左クリック) します。
-  ... [Shift] キーを押しながらクリック (左クリック) します。
-  ...マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。
右ドラッグマウス移動

1. 図面を開きましょう

Operation

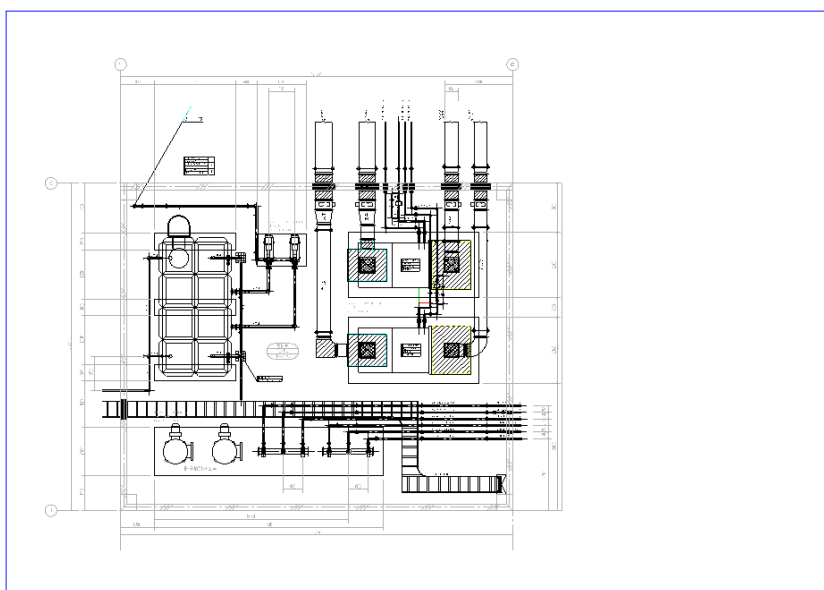
開く



使用する図面は
Smart_40_B05_貼り付け開
始.ZDW

① 図面を選択します

② 開く

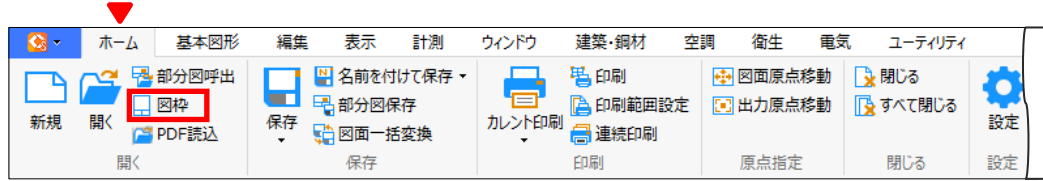


2.

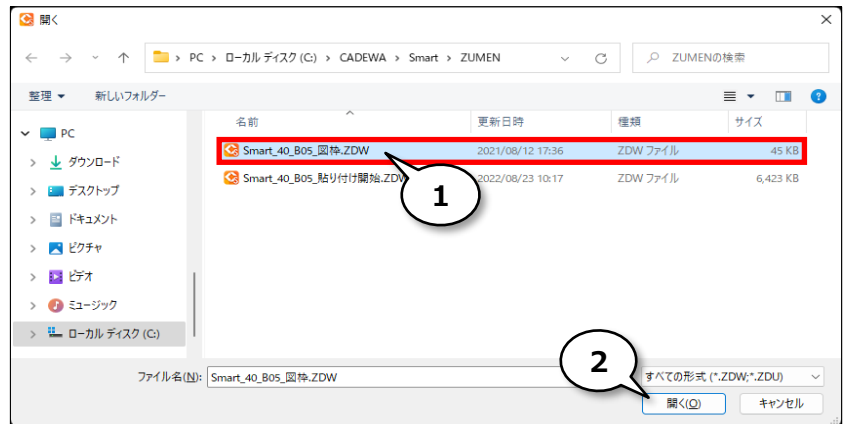
図枠を呼び出しましょう

Operation

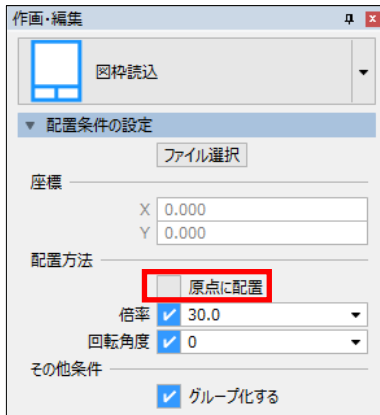
図枠



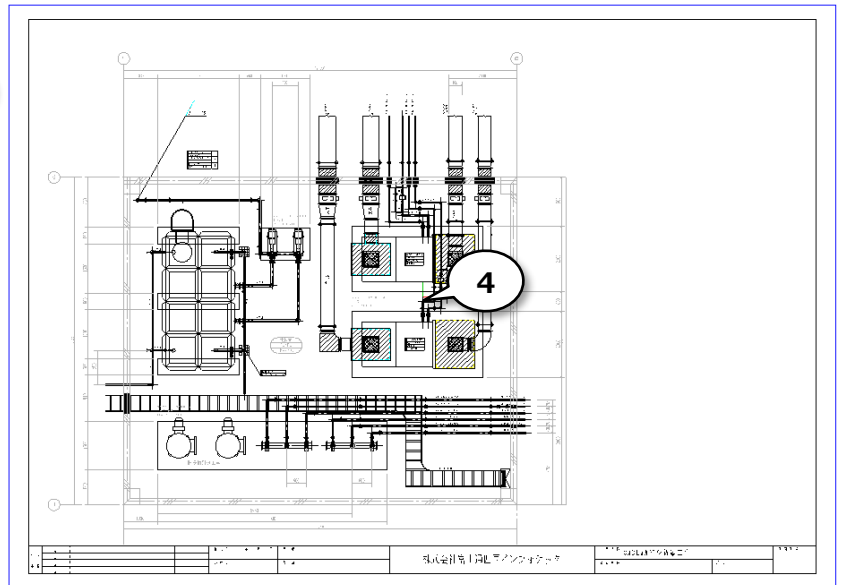
- ① 図枠を選択します
*Smart_40_B05_図枠.ZDW



- ② 開く
- ③ 「原点に配置」をOFFにします



- ④ 配置点を指示してください



補足説明

図枠の呼び出し

図枠として呼び出せる図面形式は、ZDW、ZDUファイルです。
呼び出し時に倍率が自動計算されますので、図面に応じて倍率を調整して配置してください。
「原点に配置」をOFFにすると、任意の位置に配置できます。

3.

画面を分割してみましょう

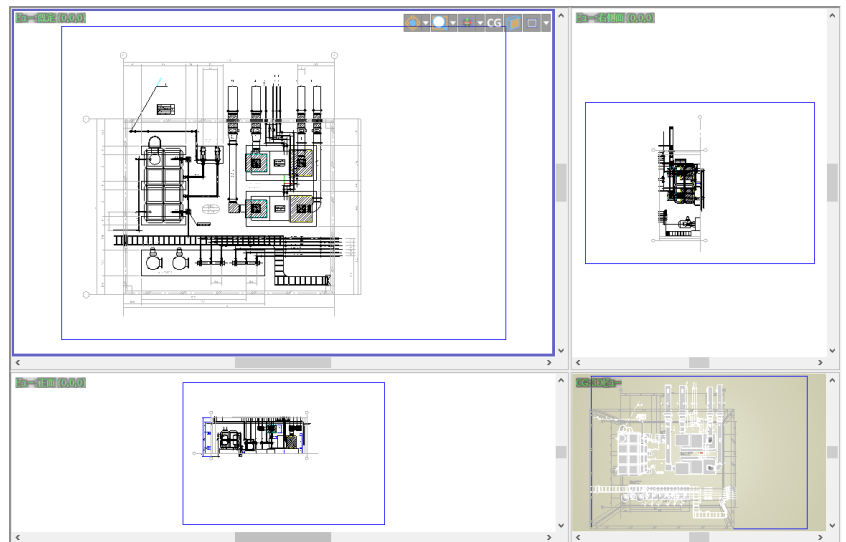
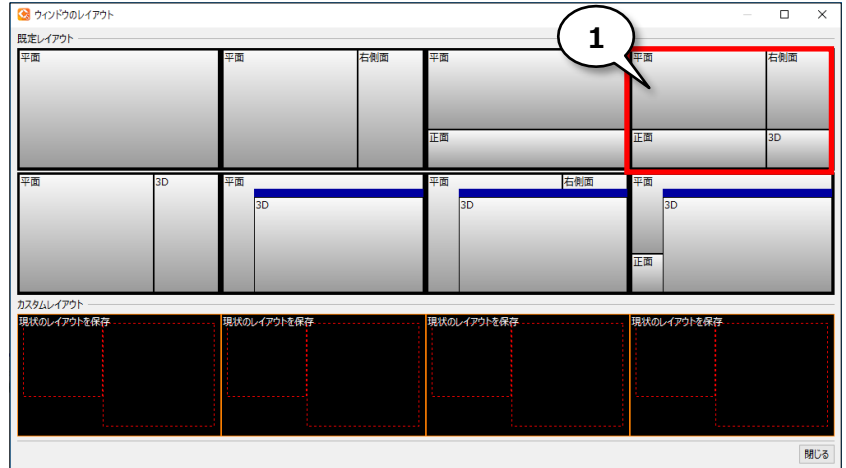
Operation

ウィンドウの レイアウト



平面・正面・右側面・3Dを表示します。

- ① レイアウトを選択します
*平面、正面、右側面、3D



4.

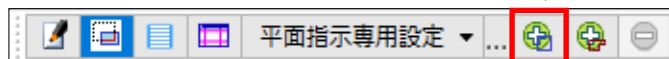
断面に表示する領域を設定しましょう

Operation

断面定義

「新規(矩形)」をクリックし、矩形断面定義を追加します

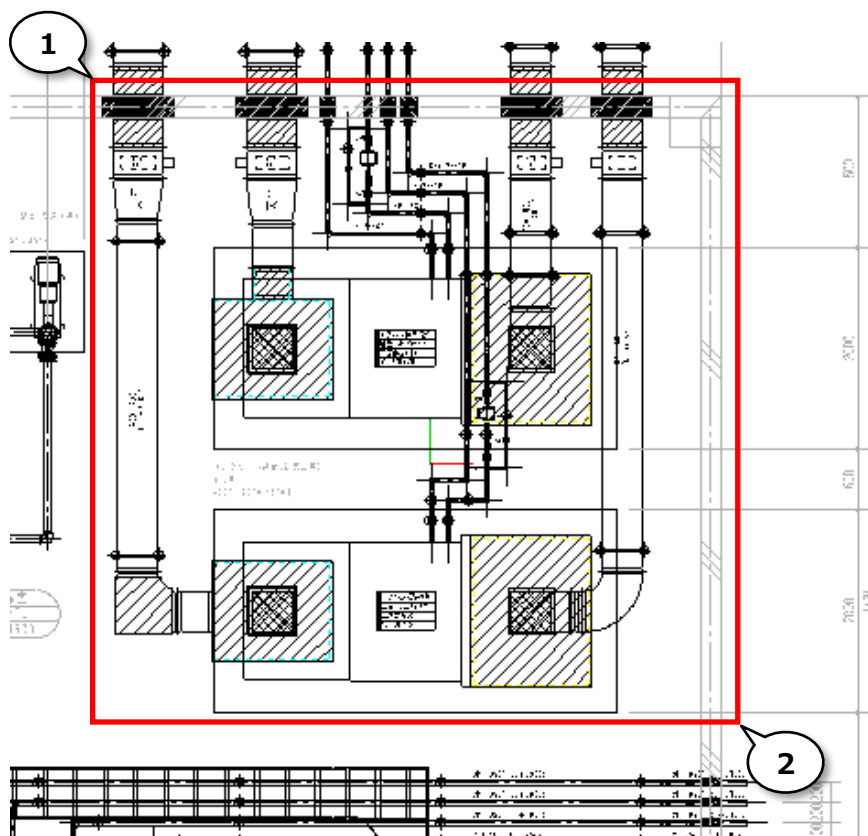
クリック



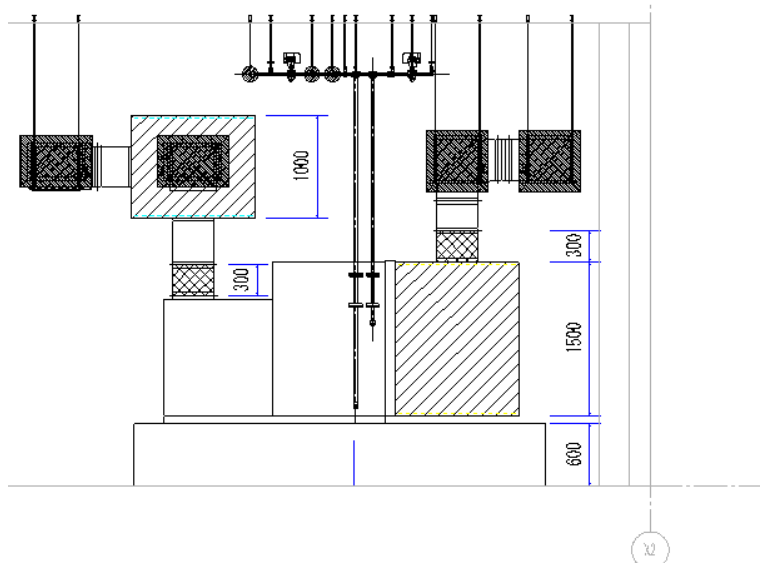
① 第1点を指示してください
*第1点を指示

② 第2点をクリックしてください

〈平面〉



〈正面〉

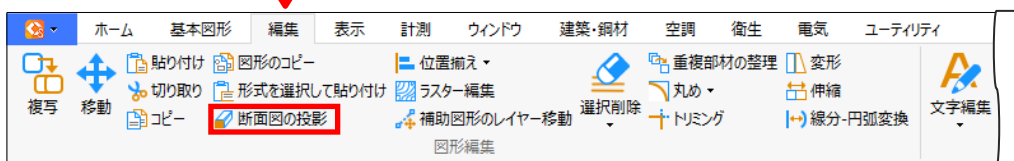


5.

断面図を平面図に投影してみましょう

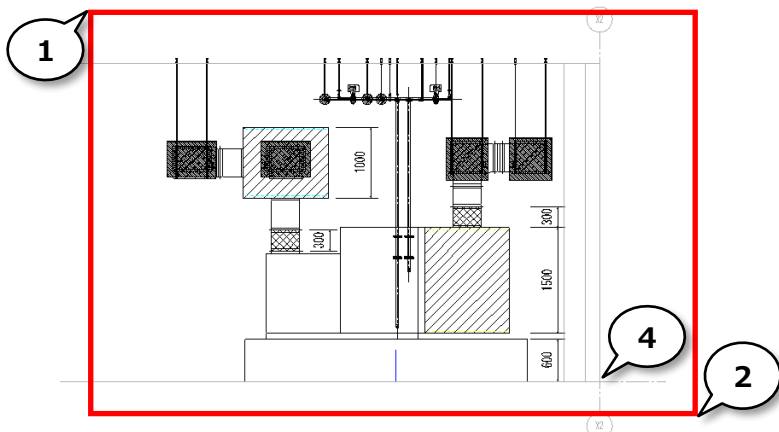
Operation

断面図の投影



- ① オブジェクトを選択してください
*断面図を選択
- ② 選択範囲の終点を指示してください
- ③ 右 選択完了
- ④ 処理元原点を指示してください
- ⑤ 「ベクトル」をOFFにします

〈正面〉

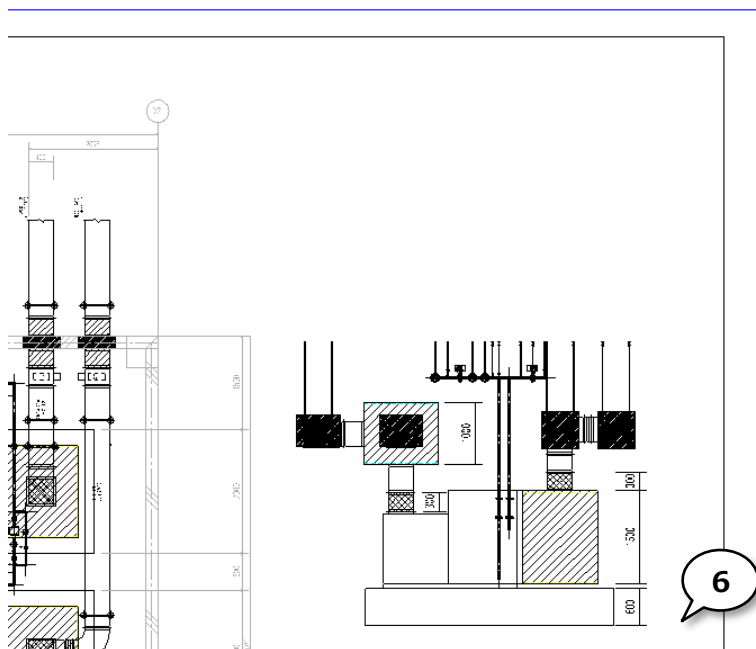


3右 → 右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キー
または、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。



- ⑥ 処理先原点を指示してください
*平面に配置

〈平面〉



6.

クリップボードに画像をコピーしてみましょう

Operation

シーン

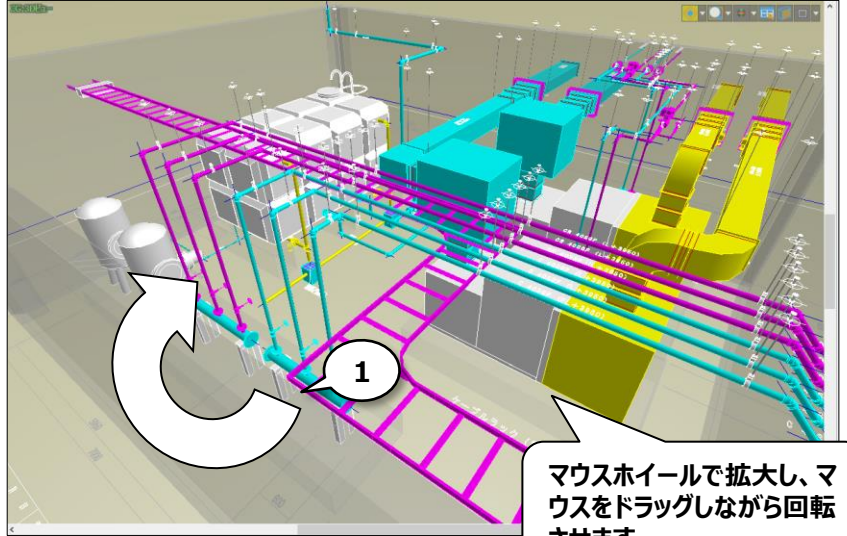
ガイドメッセージ上で右クリックし、全てのコマンドを終了

右クリック

断面図の投影 × キャンセル 処理先原点を指示してください

3Dビューを貼り付けしたい視点に変更します

〈3D〉



マウスホイールで拡大し、マウスをドラッグしながら回転させます。

画像をクリップボードにコピーします。



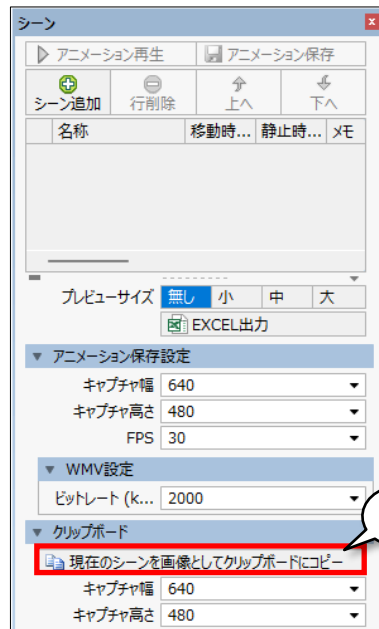
2

① 3Dビューを回転します

② 「シーン」をクリックします

③ 「現在のシーンを画像としてクリップボードにコピー」をクリックします

④ 「シーン」を閉じます



4

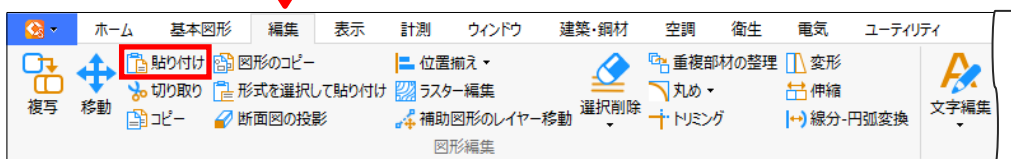
3

7

画像を貼り付けしてみましょう

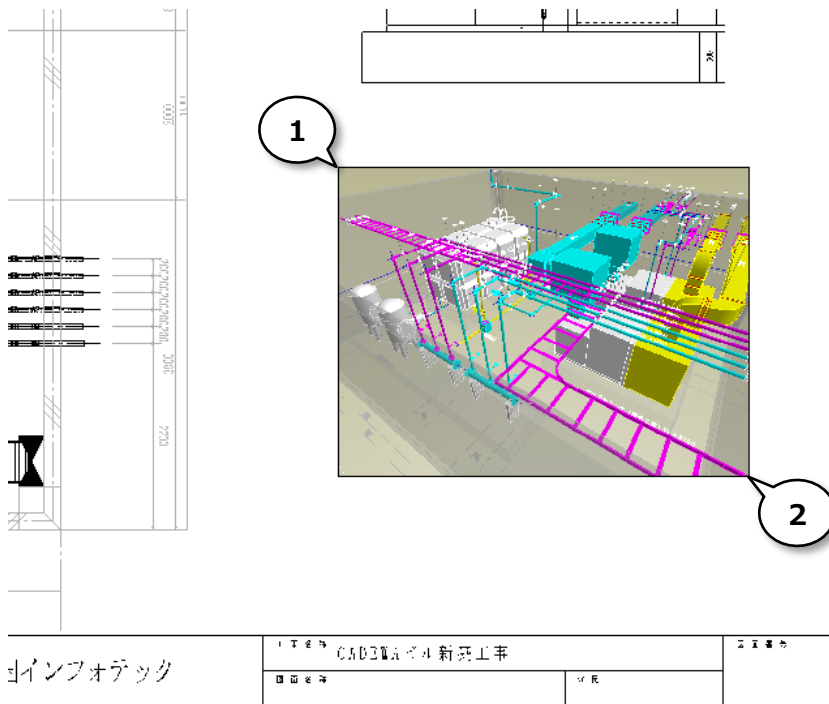
Operation

貼り付け



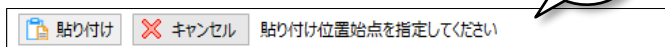
クリップボードにコピーした画像を貼り付けします。

- ① 貼り付け位置始点を指定してください
- ② 貼り付け位置終点を指定してください



- ③ 右 全てのコマンドを終了します

3右



補足説明

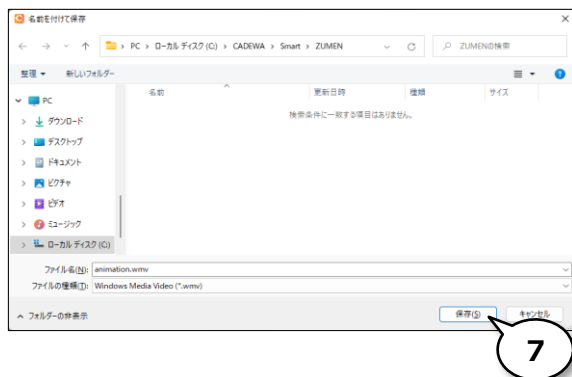
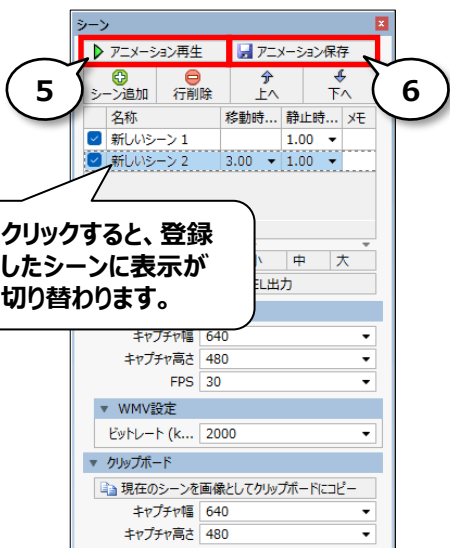
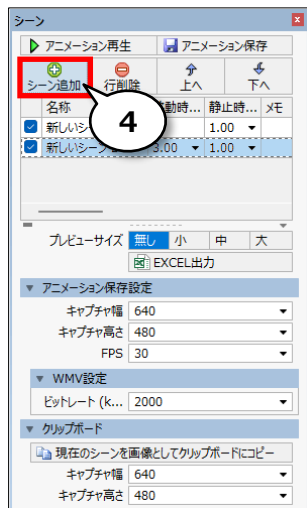
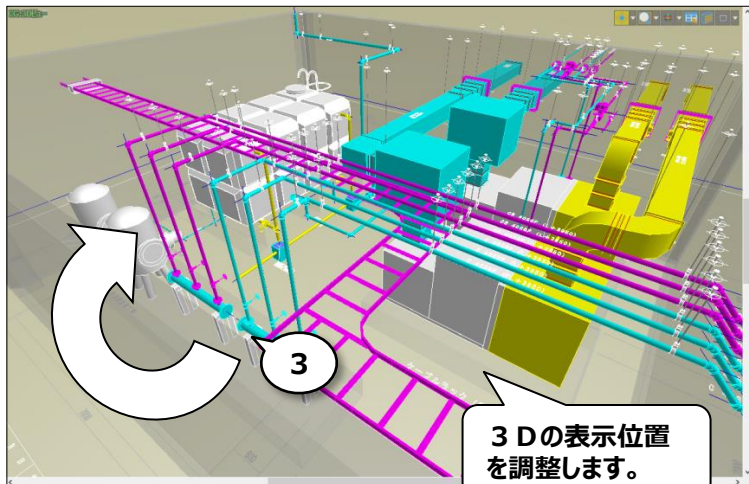
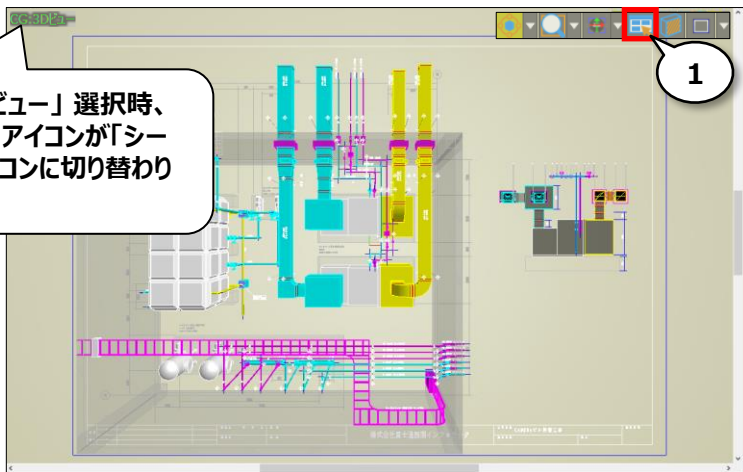
貼り付けとラスター

クリップボードに送られたデータは、「貼り付け」もしくは「形式を選択して貼り付け」で配置することができます。jpgやpngなどのファイルは、「図面・ビュー管理」の「ラスター」を使って配置できます。

「シーン」

「シーン」では3Dビューのシーンを複数登録することができます。また、登録したシーンを利用してアニメーションの作成、保存ができます。

「3Dビュー」選択時、「CG」アイコンが「シーン」アイコンに切り替わります。

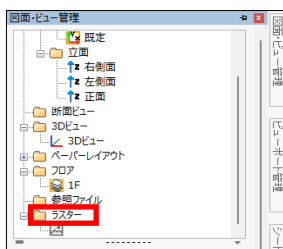


8.

ラスターを取り込みして配置してみましょう

Operation

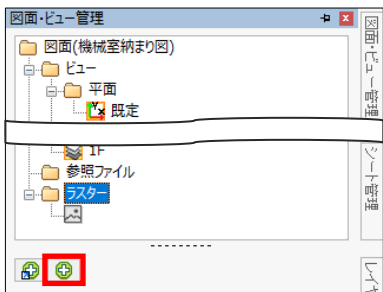
ラスター 呼び出し



「図面・ビュー管理」-「ラスタ」をクリックします

① 「ラスタ」を取り込みします

*「ラスタを取り込み（埋込）」ボタンをクリック



② ファイルを選択します

*Smart_40_B05_rogo.jpg



③ 開く

④ ラスタの配置位置を指定してください

⑤ サイズを変更します

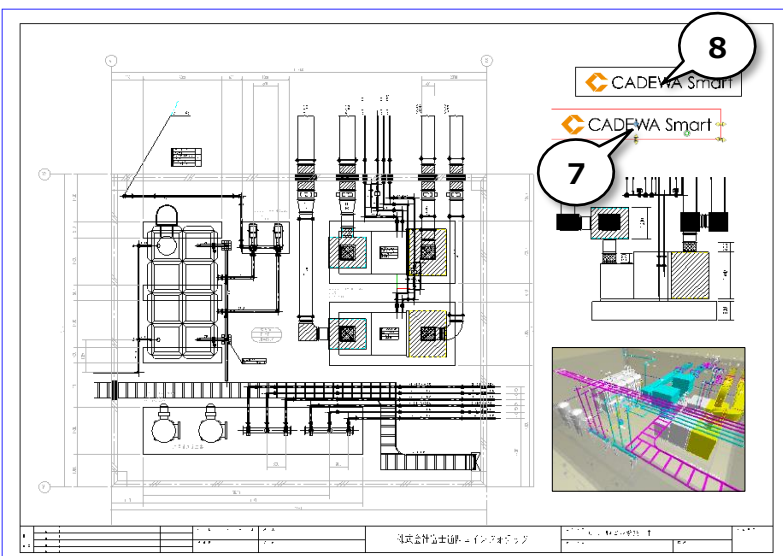
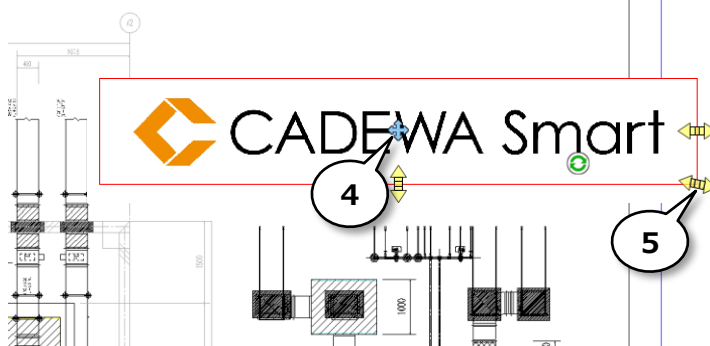
*「縮小」マークをクリック

⑥ サイズを指定してください

⑦ ラスタを移動します

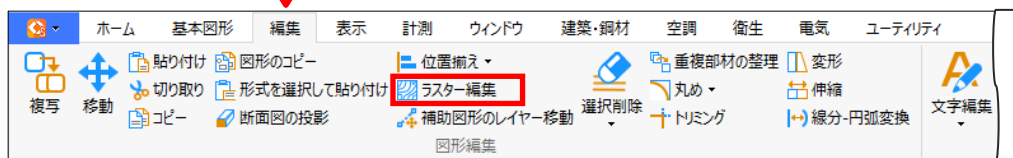
*「移動」マークをクリック

⑧ 処理先原点を指示してください



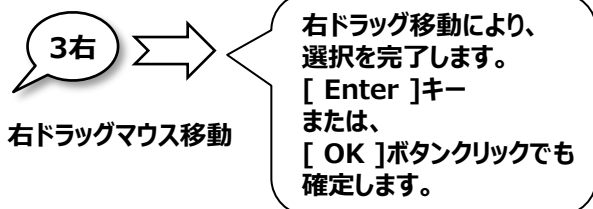
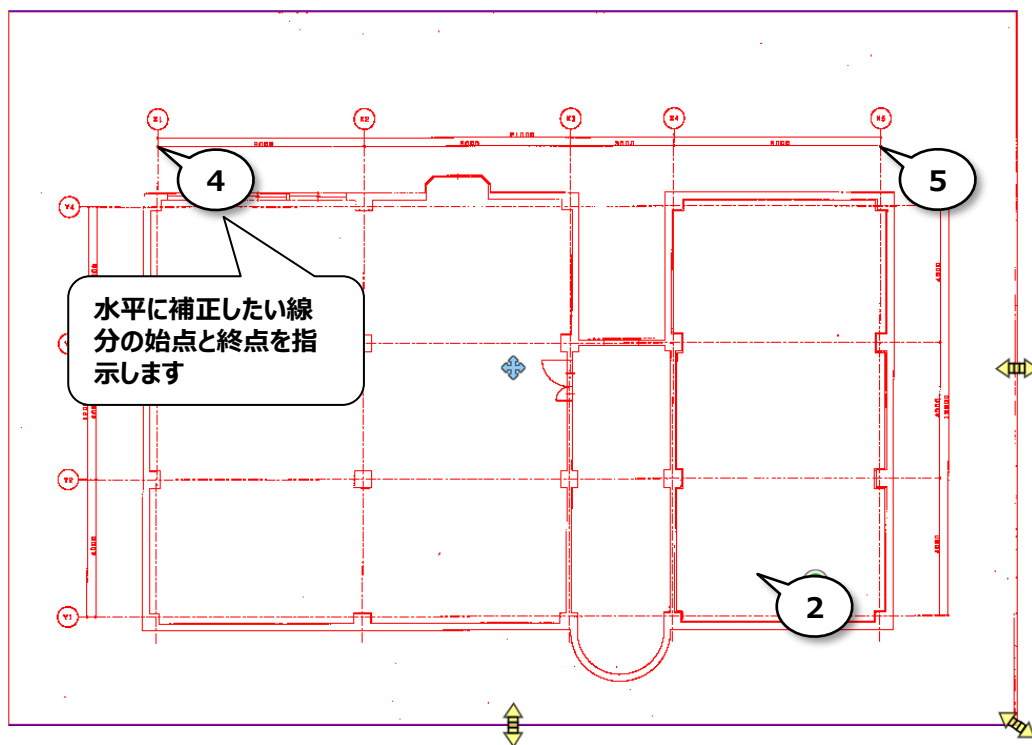
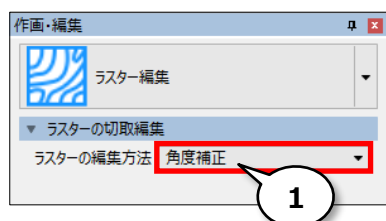
「ラスターの編集」

配置したラスターは「ラスターの編集」で移動、複写、塗り潰し、計測、角度補正などの編集ができます。
(下記操作を練習する場合は、練習図面「Smart_40_B05_ラスター-建築図.TIF」のラスターを配置して行ってください。)



・角度補正

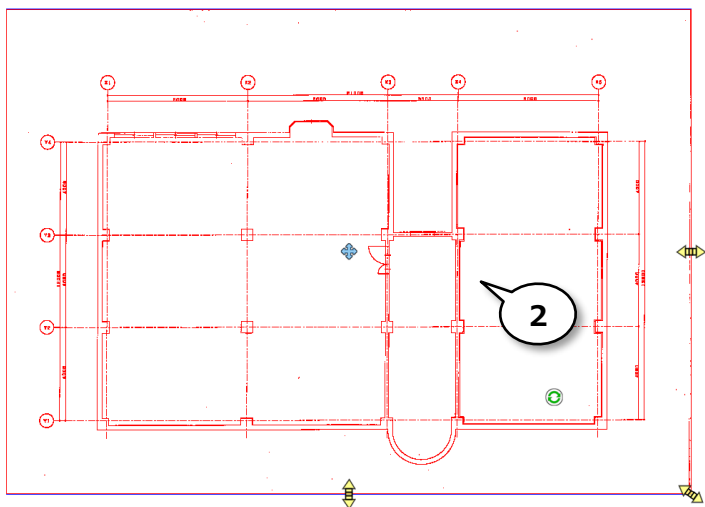
配置したラスターの角度を補正できます。



「ラスターの編集」(続き)

・計測

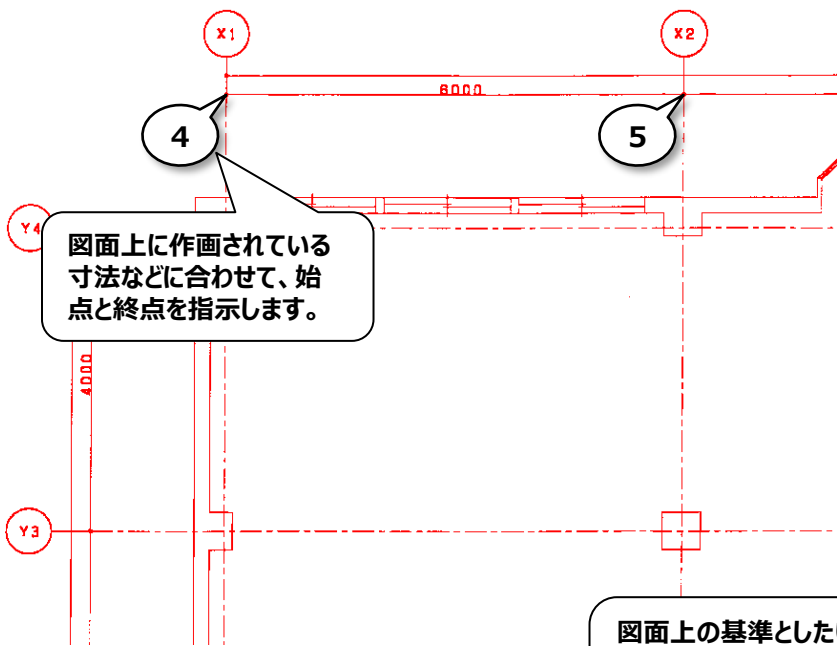
配置したラスタの指定した2点間の距離を計測し、補正後の距離を指定することで配置尺度を変更します。



3右 →

右ドラッグマウス移動

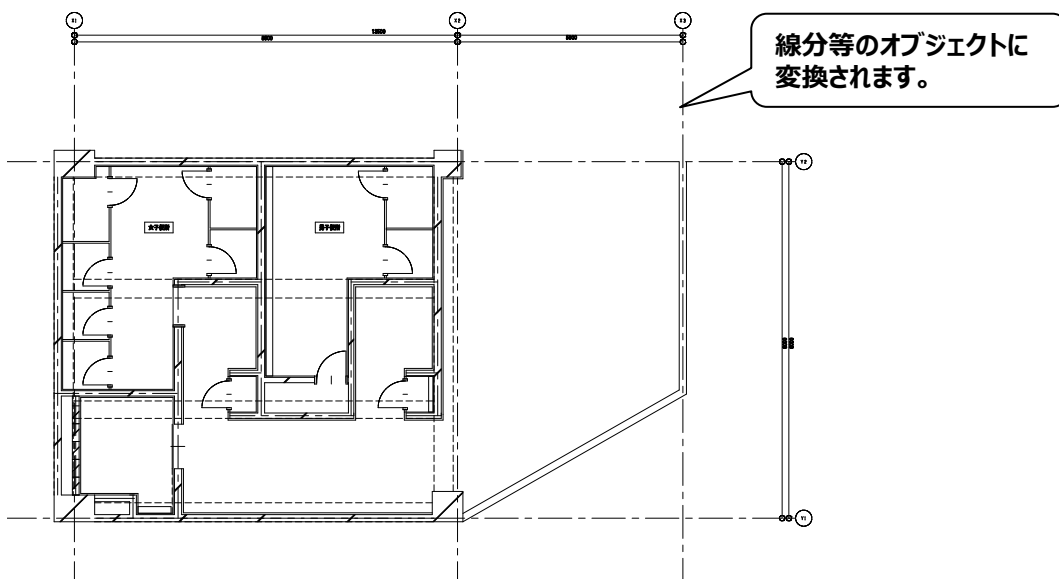
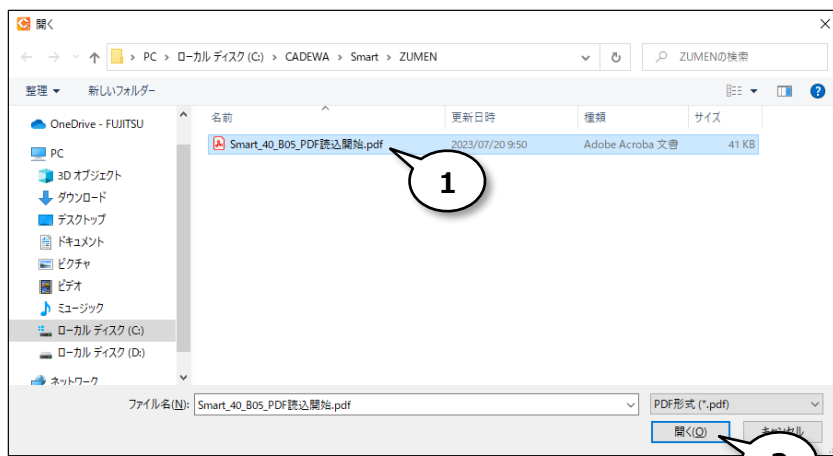
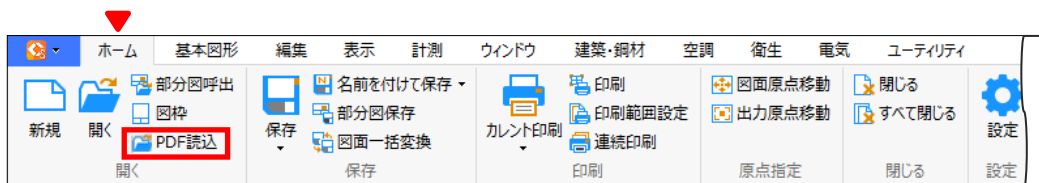
右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キー
または、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。



図面上の基準としたい2点を指示して距離計測し、「表示距離」に補正後の距離を入力すると、配置尺度が変更されます。

「PDF読込」

CADソフト等で出力したPDFファイルを、線やハッチング等のベクトル要素に変換して読込むことができます。
(下記操作を練習する場合は、練習図面「Smart_40_B05_PDF読込開始.pdf」をご利用ください。)

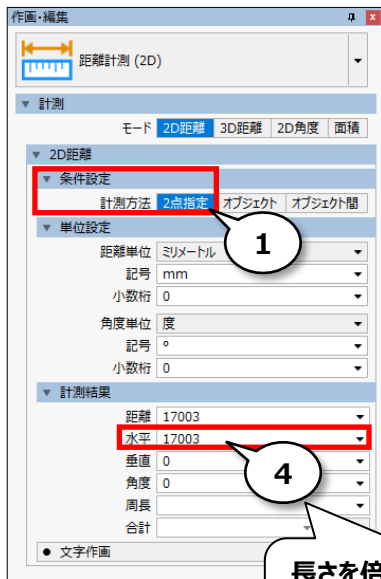


用紙とスケールを設定します。



「PDF読込」(続き)

読込んだオブジェクトをスケールに合わせて編集します。
読込んだオブジェクトの距離を「距離計測 (2D)」で確認し、値をコピーします。

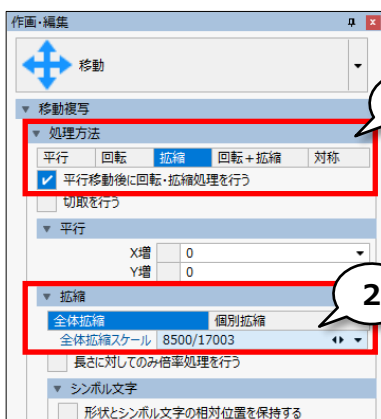
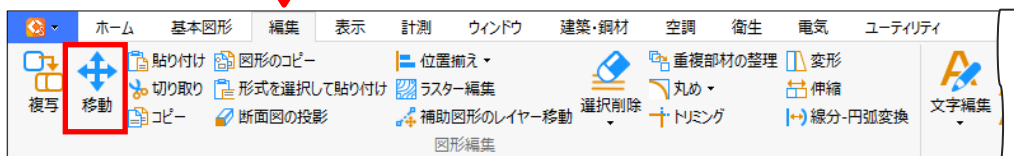


長さを倍率変更する際に
使用するため、計測
した距離をコピーします。

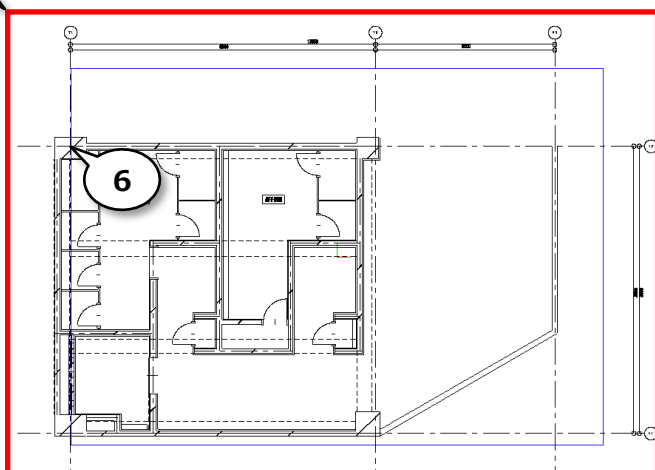


「PDF読み込み」(続き)

「移動」-「拡大縮小」モードで、図面上の寸法に合わせて倍率を計算し、編集します。

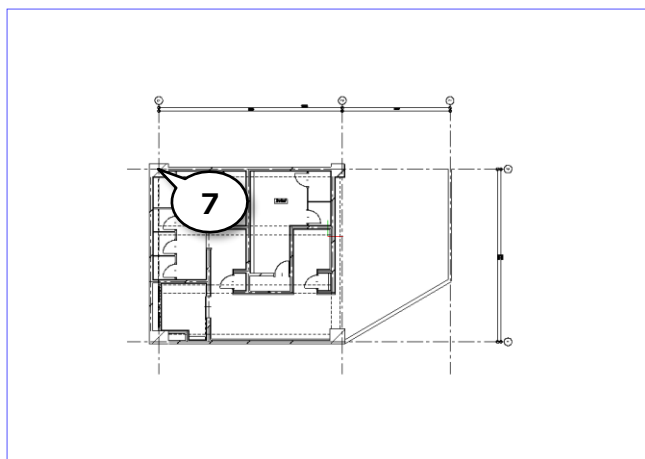


全体拡大縮小スケールへ
「図面に作画されている寸法 /
計測した距離」を入力します。
(今回の場合、「8500/17003」)



5右
右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キー
または、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。

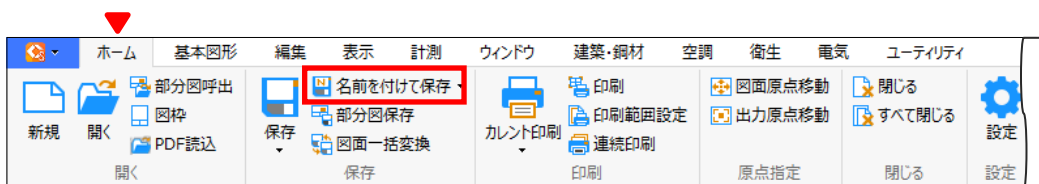


9.

図面を保存しましょう

Operation

名前を付けて
保存



- ① ファイル名を入力します
*Smart_40_B05_貼り付け終了.ZDW

- ② 保存

